

3/20 2017 13:30 ~ 16:30  
(月・祝) @全国町村会館



日本の地域におけるコミュニティ財団による



の**実践**とは

多様な主体によるシステムチェンジとそのための資金支援

【第1部】トークセッション

コミュニティ財団による  
多様な主体参加と資金循環の可能性

モデレーター：  
(一社)全国コミュニティ財団協会 会長 深尾昌峰

スポーツ選手による社会貢献の可能性

(公財) ジャパン・プロフェッショナル・  
バスケットリーグ  
理事・事務局長 葦原一正

企業による本業との連携とシビックプライド

「カンパイチャリティ」  
(公財)あいちコミュニティ財団 代表理事 木村真樹

「認知症みまもり自販機」  
(公財)みらいファンド沖繩 代表理事小阪亘

「祇園祭ごみゼロ大作戦」  
(公財)京都地域創造基金 事務局長 可児卓馬

【第2部】分科会

日本の地域における  
コレクティブインパクトの実践

分科会①

震災復興におけるコミュニティ財団の役割

モデレーター：(一社)全国コミュニティ財団協会 副会長 鈴木祐司  
東北、茨城、広島、九州等での災害時におけるコミュニティ財団の動き

分科会②

社会的孤立を防ぐコレクティブインパクト

モデレーター：(一社)全国コミュニティ財団協会 副会長 木村真樹  
子どもの貧困、包括ケアの実現、受刑者の社会復帰などの取り組み

分科会③

コミュニティ持続のためのコレクティブインパクト

モデレーター：(一社)全国コミュニティ財団協会 事務局長 石原達也  
トヨタモビリティ基金の助成による山間地での生活維持の取り組み

# コレクティブインパクトの実践とは

## 多様な主体によるシステムチェンジとそのための資金支援

全国コミュニティ財団協会も3周年を迎えました。この間、コレクティブインパクトの取り組み、熊本地震への支援、遺贈寄付を推進する全国レガシーギフト協会設立への参画などに取り組んできました。

一方で、地方を取り巻く状況は厳しさを増しており各地で策定された人口ビジョンでは2040年までに5万人単位で人口減少が起きる地域や30%を超える高齢化率など、介護、健康寿命の維持、子育て支援、インフラの維持など様々な分野で官民を超えた取り組みが必須となるとともに、そこへ税財源だけではない資金の投資の必要性が高まっ

ています。そのような状況の中で休眠預金活用法案による税とも寄付とも違う資金が課題解決に投じられることが決まりました。こうした資金を消費してしまうものではなく、域内における資金循環や再投資の流れづくりへとつなげていく必要があると実感しています。

本大会ではこうした社会状況を踏まえながら、多様な主体が連携して社会課題の原因となるシステムチェンジに取り組むコレクティブインパクトの手法による取り組みを核にしなが、本質的に地域の課題解決のために必要な取り組みやその手法について議論を行います。

●日時 2017年3月20日(月・祝) 13:30～16:30

●会場 全国町村会館(東京都千代田区永田町1丁目11-35)

●参加費 1,000円

●主催 一般社団法人全国コミュニティ財団協会

●助成 公益財団法人日本財団

●協力 公益財団法人トヨタ財団

### ●プログラム

13:30～開会

13:40～トークセッション

「コミュニティ財団による多様な主体参加と資金循環の可能性」

モデレーター(一社)全国コミュニティ財団協会 会長 深尾昌峰

□スポーツ選手による社会貢献の可能性

公益財団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットリーグ  
理事・事務局長 葦原一正

□企業による本業との連携とシビックプライド

「カンパチャリティ」

公益財団法人あいちコミュニティ財団 木村真樹

「認知症みまもり自販機」

公益財団法人みらいファンド沖縄 小阪亘

「祇園祭ごみゼロ大作戦」

公益財団法人京都地域創造基金 可児卓馬

### ●対象

一般社団法人全国コミュニティ財団協会・会員

NPO・NGOをはじめとする社会課題の解決に取り組む組織

地域での資金循環や地方創生に関心のある金融機関、

行政機関、社会福祉法人、助成財団、

その他、地域における資金循環や社会課題解決に関心のある方

15:00～分科会

「日本の地域におけるコレクティブインパクトの実践」

分科会①震災復興におけるコミュニティ財団の役割

モデレーター(一社)全国コミュニティ財団協会 副会長 鈴木祐司

東北、茨城、広島、九州等での災害時におけるコミュニティ財団の動きを共有する。

分科会②社会的孤立を防ぐコレクティブインパクト

モデレーター(一社)全国コミュニティ財団協会 副会長 木村真樹

子どもの貧困、地域包括ケアの実現、受刑者の社会復帰の取り組み。

分科会③コミュニティ持続のためのコレクティブインパクト

モデレーター(一社)全国コミュニティ財団協会 事務局長 石原達也

トヨタモビリティ基金の助成による山間地での生活維持の取り組み。

16:30 閉会

### ●お申し込み方法

右のQRコードからお申し込みいただくか、  
「web@cf-japan.org」まで、

- ①お名前、
- ②ご所属(個人の場合は省略)、
- ③メールアドレス、
- ④緊急連絡先(携帯電話など)、
- ⑤参加を希望される分科会

の5点をご記入の上、お申し込みください。

### ●お申し込み・お問い合わせ先

一般社団法人

全国コミュニティ財団協会(担当:石原、三好)

〒700-0822 岡山市北区表町1丁目4-64

上之町ビル3階 岡山NPOセンター内

電話 086-224-0995(岡山NPOセンター内)

FAX 086-224-0997

Email web@cf-japan.org

URL http://www.cf-japan.org/

以下のQRコード  
からお申し込み  
いただけます!

